

第1回アジアビジネスローフォーラム
知財・司法改革シンポジウム

The Panasonic logo is displayed in white text on a blue rectangular background.

アジアにおけるブランド模倣品対策

2019年7月5日

パナソニックIPマネジメント株式会社
商標・意匠部 ブランド課
高木 俊明

模倣品対策の啓発動画（約4分）をご紹介します。

※2019/5/27 リリース

<https://channel.panasonic.com/jp/contents/26241/>

進化する商標権侵害行為

非類似商標 + 商号 スペックアップ表記品



ブランドラベル



リパック品 エンドース品



適用品



MP前横流し品



模倣品業者予備軍の出願

Palsonic

Partsoinc

Panisounic



PANATIONAL



お客様の「安全」、事業の「利益」、ブランドの「価値」を保護

お客様
「安全」

- 商品の爆発によるケガ
- 火災や事故の原因
- 機器動作不良による機能不全



事業
「利益」

- 模倣品に販売機会奪われる
- 正規品の販売価格が低下
- 代理店からのクレーム



ブランド
「価値」

- 期待を下回る品質にがっかり
- ブランドイメージが低下
- 無策や放置は社会的信用が失墜

ブランドランキング

76位 Panasonic

A screenshot of a brand ranking table. The table has multiple columns, including brand names and their corresponding rankings. Panasonic is listed at rank 76.

【世界における模倣品・海賊版の今後の予測額】

項目	2013年	予測額(2022年)
模倣品・海賊版の国際取引総額	4,610億ドル	9,910億ドル
模倣品・海賊版の国内生産・消費総額	2,490億ドル	5,240億ドル
映画、音楽及びソフトウェアのデジタル著作権侵害	30億ドル	40億ドル
(内訳) 映画	10億ドル	15億ドル
(内訳) 音楽	10億ドル	15億ドル
(内訳) ソフトウェア	10億ドル	10億ドル
模倣品・海賊版総額	9,230億ドル～1兆1,300億ドル	1兆9,000億ドル～2兆8,100億ドル

出典：ICC(BASCAP) and INTA「THE ECONOMIC IMPACTS OF COUNTERFEITING AND PIRACY」(2017年2月)

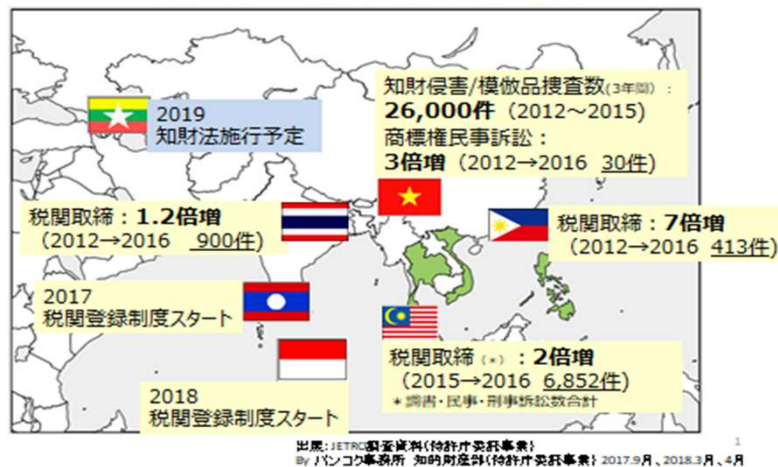
約50兆円

約100兆円

中国SAICの摘発件数

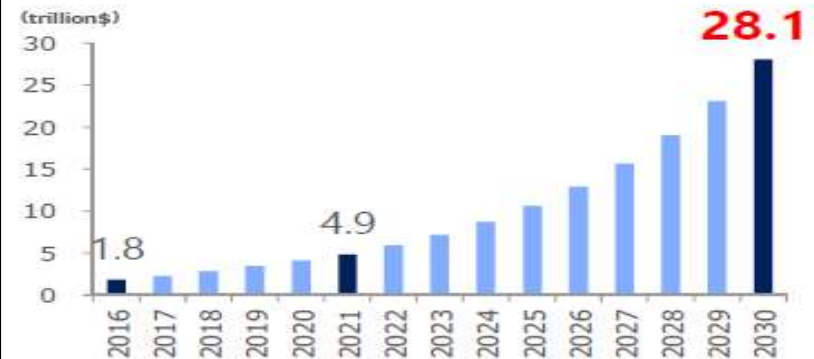


ASEANにおける模倣品(含：商標権侵害)取締の動き ★各国で増加・法律上も整備★



E-Commerceの普及により物流量が急増

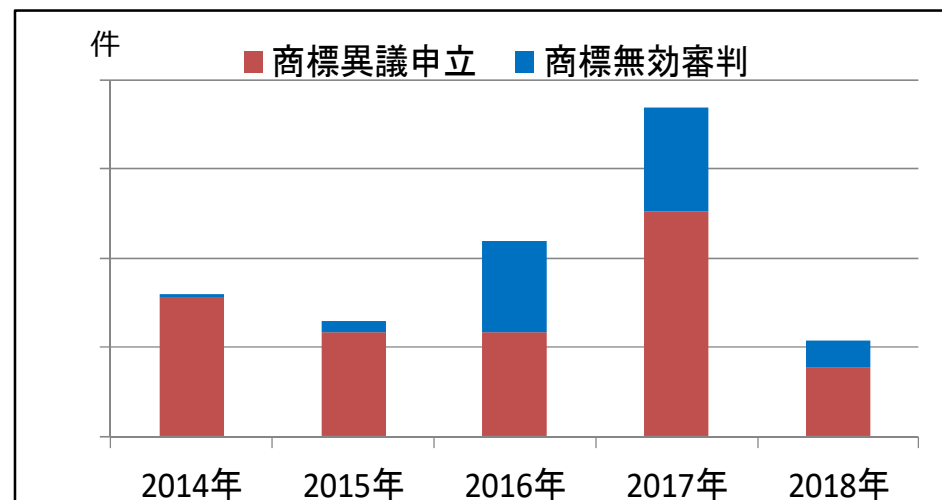
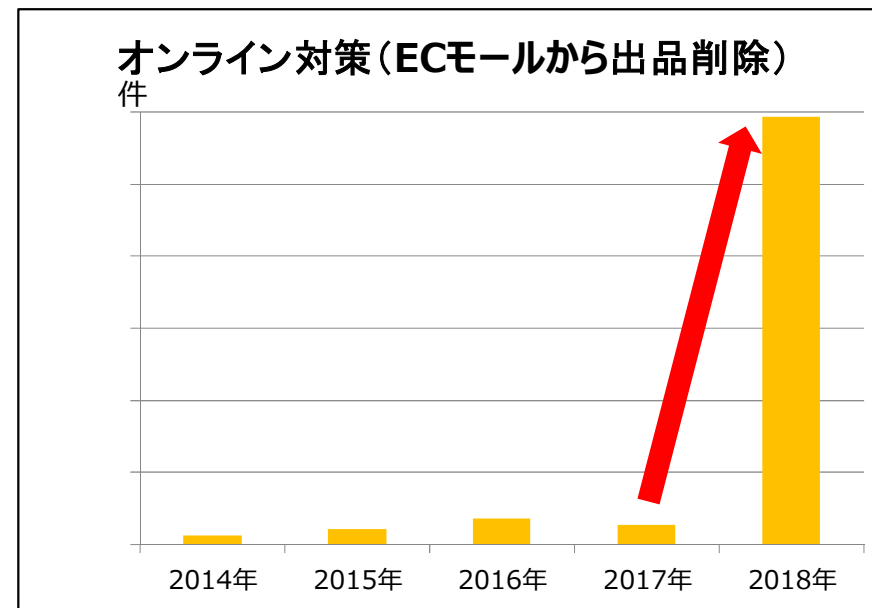
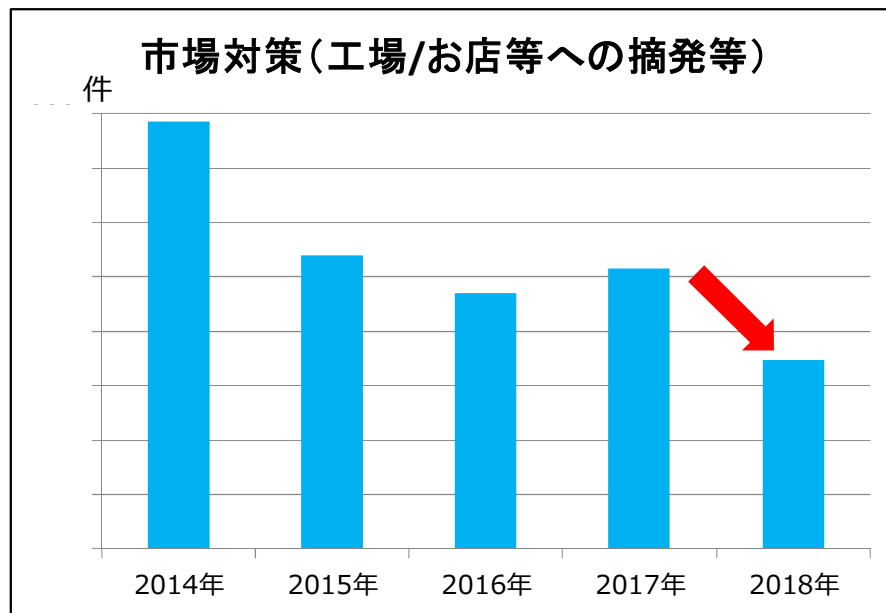
世界のEC市場(リテール)



出所：eMarketerより未来戦略室作成

注：2021年までeMarketer予測、2022年以降は2016年～2021年のCAGR同一として算出

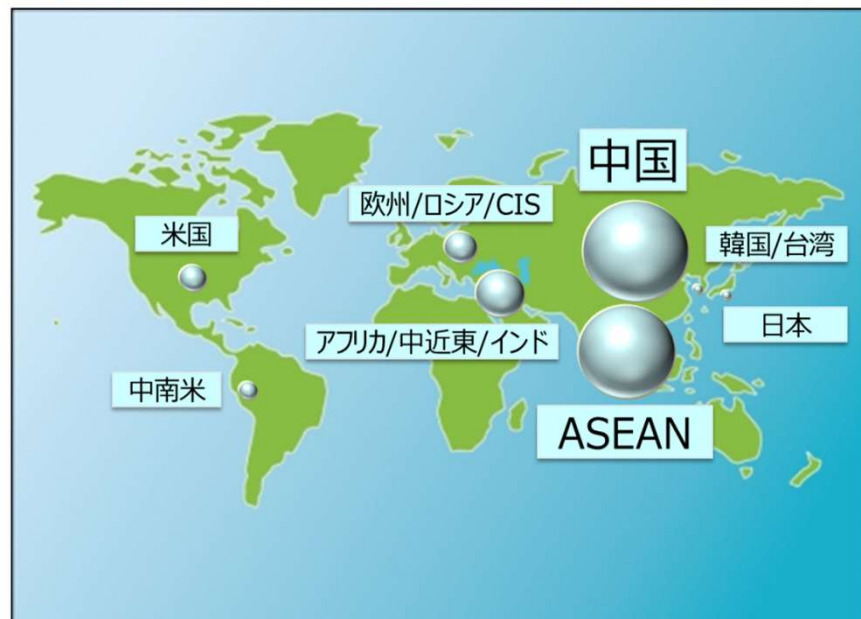
模倣品は減ることなく、特にEC市場で増加する



当社における模倣品の拡散状況

For Participants Only

<当社のブランド模倣品における市場対策件数のボリューム（過去3年間）>



<2018年度 当社の模倣品が初めて市場で発見された国>



中国で製造された模倣品は、中国の近隣諸国ほど多く流通する。
一方で、模倣品の世界的拡がりの萌芽には注意を要する。

事例① タイ「Patriot」Passing-off事件（2012-18年）

For Participants Only

1. 侵害態様

パッケージの例



店頭販売状況



Panasonic



Patriot

2. 訴訟概要

提訴日: 2012年9月17日

裁判所: IP & IT裁判所

原告: パナソニック株式会社

被告: Royal & Kingdom Industry Co., Ltd 等

請求: 侵害品の販売停止/金銭的賠償 等

根拠: 詐称通用 (Passing-Off)

→ 周知な商品等表示を模倣する詐称行為

商標権侵害

→ 商標権侵害品の差止め

一般不法行為 ※タイ民商法典

3. 結果

判決日: 2014年4月30日

敗訴

※裁判所は、被告の悪意を考慮せず、
商標そのものだけを判断材料にした。



2014年8月15日

タイ最高裁判所に上告



判決日: 2018年4月24日

勝訴

※裁判所は、商標は非類似であるが、
被告の悪質な意図は明確と判断した。

事例② 中国「松下」不正競争事件（2017-18年）

For Participants Only

1. 侵害態様

店頭



商品（洗濯機/エアコン等）



2. 訴訟概要

提訴日: 2017年6月19日

裁判所: 広州知財法院

原告: パナソニック株式会社

被告: 珠海中松投資管理有限公司 等

請求: 侵害品の販売停止/金銭的賠償 等

根拠: 商標権侵害

→ 馳名商標の保護/登録商標の無断使用 等

反不正競争法違反

→ 他人の馳名商品の誤認行為

混同惹起行為

※ 最高裁ドメインネーム紛争司法解釈

3. 結果

2018年7月

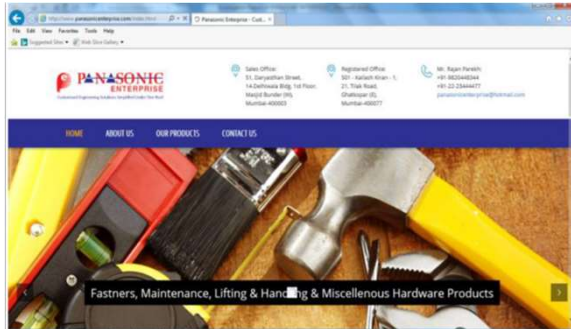
調停による和解（実質勝訴）

事例③ インド「Panasonic Enterprise」商標事件（2017-18年）

For Participants Only

1. 侵害態様

Website



名刺



2. 訴訟概要

提訴日:2017年8月18日

裁判所:ムンバイ高等裁判所

原告:パナソニック株式会社
パナソニックインド株式会社

被告:Panasonic Enterprise社

請求:商標/商号/Websiteにおける
Panasonicの使用中止

根拠:商標権侵害
詐称通用（Passing-Off）
暫定的差止命令
※民事訴訟法

3. 結果

2017年9月1日

被告:商標使用を中止する旨を申し出



2017年9月7日

和解勧告



2018年1月29日

被告:商標使用を継続していたことが発覚



2018年2月5日

永久的差止命令

ご清聴ありがとうございました。